

未定稿

令和3年度農林水産関係補正予算

畜産のための

スマート農林水産業の  
全国展開に向けた導入支援  
第2回説明会

令和4年4月  
農林水産省

# ① 事業の目的

---

- ポストコロナを見据え、国産畜産物の需要増加への対応等を進めるため、生産性向上に資するスマート技術の全国展開が必要
- 畜産農家及びそれを支える支援組織が行う生産性向上に資するスマート技術の導入等の取組を支援し、スマート技術の全国展開を推進

## ② 補助対象者

畜産農家及びそれを支える支援組織  
(個人・法人)

このような方が補助対象者になります！

- ・ 畜産農家
- ・ コントラクター、堆肥センター、CS、CBS等の支援組織

# ③ 補助対象となる経費・要件

## 補助対象となる経費

- スマート技術の導入に必要な機械装置（スマート機械等）の購入に充てる経費

## 補助対象となるための要件

- ㊦ 畜産支援サービス導入タイプでは受託経営体数・売上げ・生産性の向上等、一括発注タイプ・共同利用タイプでは売上げ・生産性の向上等
- ㊧ スマート機械等による改善効果に関する情報の広報（スマート機械等による改善効果を示した資料のHP公表、見学・研修の受入れ等）に積極的に取り組むこと
- ㊨ 一括発注タイプでは上記㊦㊧に併せ、購入価格の低廉化を図ること

※都道府県から農政局等への申請にはeMAFFを用いる必要があります

# ④ 補助率と補助上限

## 畜産支援サービス 導入タイプ

3 経営体以上により作業委託・利用される畜産支援サービス事業者が、スマート技術の導入に必要な機械装置（スマート機械等）を導入する取組を支援 【補助率：1/2】

### オペレーター等支援

畜産支援サービス導入タイプに取り組む事業者の人材育成等に係る経費を支援 【補助率:定額】

## 一括発注タイプ

3 経営体以上の一括発注により、複数のスマート機械等を導入する取組を支援

【補助率：1/2】

## 共同利用タイプ

3 経営体以上で共同利用する際のスマート機械等を導入する取組を支援

【補助率：1/2】

1 申請当たりの 補助 上限	畜産支援サービス 導入タイプ	受託経営体数 × 300万円 最大 1,000万円
	一括発注タイプ	受益経営体数 × 300万円 最大 1,000万円
	共同利用タイプ	100万円

(例1) 3経営体から受託する事業者の場合、  
 $3 \times 300 = 900$ 万円  
 となり、**上限額は900万円**

(例2) 4経営体の一括発注の場合、  
 $4 \times 300 = 1,200$ 万円  
 となるが、最大上限額が  
 1,000万円であるため、  
**上限額は1,000万円**

<参考>

畜産支援サービス  
導入タイプ



機器販売メーカー等



畜産支援サービス事業者が導入



1 申請当たり  
補助上限額1,000万円  
※2/3補助の場合は1,500万円  
※いずれも1 受託経営体当たり300万円

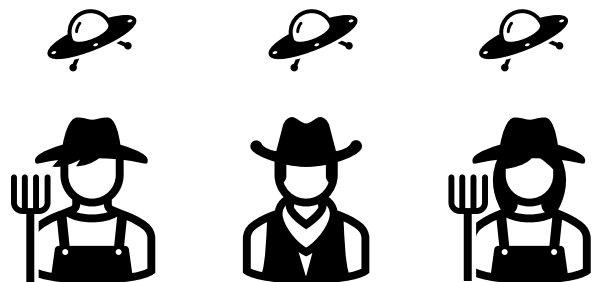
一括発注タイプ



機器販売メーカー等



一括発注で  
過去の販売価格よりも安く共同購入



1 申請当たり  
補助上限額1,000万円  
※2/3補助の場合は1,500万円  
※いずれも1 受益経営体当たり300万円

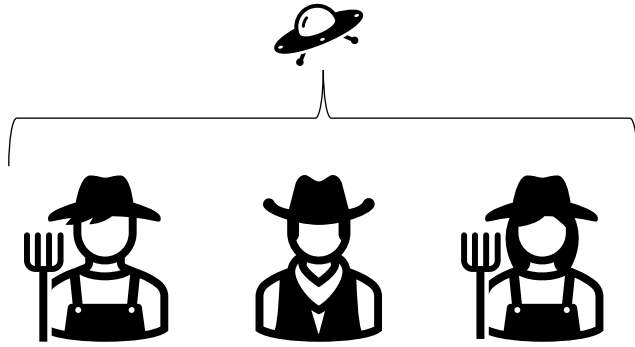
共同利用タイプ



機器販売メーカー等



複数で共同利用



1 申請当たり  
補助上限額100万円

# ⑤ 補助率等の引上げ

## 補助率等を引き上げる取組

- 「補助対象となるための要件」に加え、畜産支援サービス導入タイプ又は一括発注タイプにおいて、
  - (ア) 国産飼料の利用拡大
  - (イ) 家畜排せつ物の利用等について耕畜連携のいずれかに取り組むことが書類等によって確認できる場合、補助率 1/2 から 2/3 に引上げ可能
- これに伴い、補助上限も 1,500 万円に引上げ

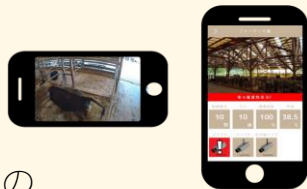
	補助対象要件	補助対象要件 + 国産飼料利用拡大又は耕畜連携
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○畜産支援サービス導入タイプ</li> <li>○一括発注タイプ</li> </ul>	補助率：1/2  補助上限： 「受託経営体数×300万円」 又は「1,000万円」 のうち低い方

(例) 畜産支援サービス導入タイプで、3者から受託する事業体の場合、 $300万 \times 3 = 900万円$ が上限

# ⑥ スマート機器の例

## ① 非接触型システム

◆牛舎に設置したカメラから取得した画像情報をAIで解析し、疾病兆候等を早期に把握



◆小型端末で撮影した画像から家畜の体重を推定し、出荷時の体重測定作業を省力化



【参考】事業要望例  
一括発注タイプ：MOWCAM（モウカム）、MOOVIE（モービー）、餌寄せロボット、デジタル目勘…

## ② 接触型システム

◆家畜に装着または、経口投与したセンサーで疾病の予測や健康状態を把握



カプセル型  
センサー

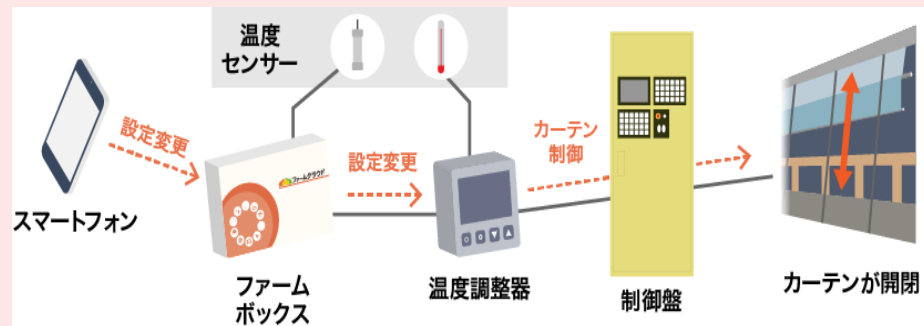
Caprule Sensor



【参考】事業要望例  
一括発注タイプ：U-Motion、Farmnote（Color、AirGateway）、牛恩恵…

## ③ 畜舎環境制御システム

◆畜舎内で環境（温度・湿度等）をセンサーで把握し、自動で畜舎環境を管理



## ④ ロボットトラクター（無人）

◆自動運転により、急傾斜地も含む牧草地における自給飼料生産作業を効率化



【参考】事業要望例  
一括発注タイプ：ロボットトラクタ、フルオートラップマシン  
畜産支援サービス導入タイプ：オートプレイヤー、自動操舵システム



# 令和3年度スマート畜産業の全国展開に向けた導入支援事業における導入対象機械の例

## (1) 畜産支援サービス導入タイプ

技術名・機械名
ロボットトラクター(無人仕様)
農業用無人車(自律走行又はリモコン式で、運搬又は防除用)
自動運転適応作業機(可変施肥機等)
移動基地局(GNSSによる制御を要する機械と同時に導入する場合に限る)
スマート農業管理システム
その他スマート畜産業の全国展開に向けた導入支援として適当な機器

## (2) 一括発注タイプ

### ①「一括発注タイプ」

対象畜種等	活用シーン	技術名・機械名	団体名または企業名
共通	畜舎環境管理	飼料タンク残量監視ソリューション	株式会社YE DIGITAL
共通	畜舎環境管理	カラス音声をういたカラス忌避システム	株式会社CrowLab(クロウラボ)
共通	畜舎環境管理	通気量自動制御堆肥化システム	(有)岡本製作所
共通	畜舎環境管理	BOD監視システム	山形東亜DKK株式会社
共通	労働負担軽減	メディエイド アシストギア 腰ユニット	日本シグマックス株式会社
共通	労働負担軽減	アクティブパワーアシストスーLUMBUS II	株式会社ジェイテクト
共通	労働負担軽減	電気柵監視システム「EfMoSJr.(エフモスジュニア)」	協和テクノ
共通	労働負担軽減	家畜用体重計「イージーウェイ7i」	ファームエイジ
共通	生産管理	空から診る精密農業 クラウド型営農支援サービス「天晴れ」	国際航業株式会社
共通	生産管理	ドローン	
共通	電牧管理	ロボット芝刈機「オートモア」	ハスクバーナ
牛	畜舎環境制御	INTEGRI	日本エヤークラフトサプライ株式会社 北関東工場
牛	生産管理	電池レス式ビーコンを使った中小規模牧場向け牛の傷病管理ソリューション	光和ネットサービス株式会社
牛	生産管理	餌寄せロボット	レリー
牛	生産管理	自動給餌機	オリオン機械株式会社
牛	生産管理	肥育牛起立困難検知システム「うしらせ」	ソニーエンジニアリング株式会社
牛	繁殖管理	胃診電信	株式会社セントラル情報サービス
牛	繁殖管理	クラウド牛群管理システム「Farmnote」	株式会社ファームノート
牛	繁殖管理	牛向けウェアラブルデバイス「Farmnote Color」	株式会社ファームノート
牛	繁殖管理	牛の分娩予知・発情発見システム「モバイル牛温恵」	株式会社リモート
牛	繁殖管理	牛の行動監視支援システム「MOH-CAL(もーかる)」	株式会社コンピューター総合研究所
牛	繁殖管理	U-motion	デザミス株式会社

①「一括発注タイプ」(続き)

対象畜種等	活用シーン	技術名・機械名	団体名または企業名
牛	繁殖管理	牛の空胎期間を適正に保つソリューション「tukumo of cow」	株式会社AmaterZ
牛	繁殖管理	Fujitsu Intelligent Society Solution食・農クラウドAkisai「牛歩SaaS」	株式会社富士通九州システムズ
牛	繁殖管理	LiveCare(ライブケア)	株式会社 The Better
牛	繁殖管理	分娩監視装置「牛わか」	ノーリツプレジジョン株式会社
豚	生産管理	豚体重推定システム「デジタル目勘」	伊藤忠飼料株式会社
豚	生産管理	遠隔操作による雄豚用移動かご「ポアカート CONTACT-O-MAX」	株式会社アイピー通商
豚	生産管理	豚用自動体重測定システム「eYeGrow」	株式会社アイピー通商
豚	生産管理	畜舎環境管理「Porker Sense」	株式会社ECO-Pork
豚	生産管理	豚精子・豚精液分析装置「iSperm」	(株)PIC-BIO
豚・鶏	畜舎環境制御	センサーと連動した畜舎環境制御システム「ファームクラウド」	株式会社セラク
鶏(豚)	畜舎環境管理	環境センサー「e-kakashi」	PSソリューションズ株式会社
鶏	生産管理	鶏群行動管理システム・スプートニック	東西産業貿易株式会社
鶏	畜舎環境管理	鶏舎環境遠隔監視システム・eセンシングforアグリ	NTT東日本
鶏	畜舎環境管理	鶏舎の熱環境モニタリングシステム・サーモニ	ライブストックジャパン合同会社

②「一括発注タイプ」のうち高額機械のため一部補助となる機械例

対象畜種等	活用シーン	技術名・機械名	団体名または企業名
飼料生産	生産管理	ロボットトラクター	
乳用牛	畜舎環境制御	次世代閉鎖型牛舎システム	パナソニック環境エンジニアリング株式会社
乳用牛	畜舎環境管理	フリーストール用敷料散布機	オリオン機械株式会社
豚	畜舎環境管理	豚舎自動洗浄ロボット「Evo Cleaner」	(株)中嶋製作所
鶏	生産管理	死亡鶏自動巡回システム・Robococco	大豊産業株式会社

参照:「スマート農業技術カタログ(畜産)」等

# 令和3年度スマート畜産業の全国展開に向けた導入支援事業「導入対象機械例」 その1

対象畜種等	技術名・機械名	団体名または企業名	備考
乳牛	バルククーラー自記温度計	オリオン	当該機械には、得られたデータをタブレット等に無線で提供する機能がついているため、受益者である農家はその機能を活用する場合には補助対象となります。なお、当該機械の導入にあたり、バルククーラーの購入経費は補助対象外であること、法定耐用年数(原則7年)の間、適切に管理運営することにご留意ください。
牛	発情発見装置「牛歩10」		
牛	胃内センサー(体温・行動量管理、使い捨て型カプセル)「LiveCare」	(株)The Better	法定耐用年数(原則7年)の間、適切に管理運営できる場合、補助対象となります。
牛	分娩監視装置「牛わか」	ノーリツプレジジョン株式会社	
牛	監視カメラ「養牛カメラ」	株式会社ネットカメラ	
牛	発情発見、分娩監視装置「MOOVIE」	ファーマーズサポート株式会社	用途によりカメラが異なることに留意(発情発見用:AI搭載1秒間に10枚の画像、分娩監視用:通常の監視カメラ、5秒に1枚の画像をクラウドで解析)
牛	分娩監視カメラ	株式会社ほいで	同一機種であるかは機種名で判断する
豚	畜舎環境管理「Pocker Sense」	株式会社ECO-Pork	
豚	自動体重測定システム「ABC」	株式会社ECO-Pork	
豚	養豚農家向けAIカメラ「PIGI」	(株)コーンテック	利用料は補助対象外
豚	動物用背脂肪厚測定器「iScanF01」	(株)PIC-BIO	
豚	超音波画像診断装置「iScanP」	(株)PIC-BIO	
豚	豚精子・精液分析装置「iSperm」	(株)PIC-BIO	
豚	人工授精作業補助機「AI-Boar Escort」	イワタニ・ケンボロー(株)	
豚・鶏	IoTセンサーカメラ「ハイクカムLT4G:HCLT4G」	株式会社ハイク	
養蜂	電柵監視システム		

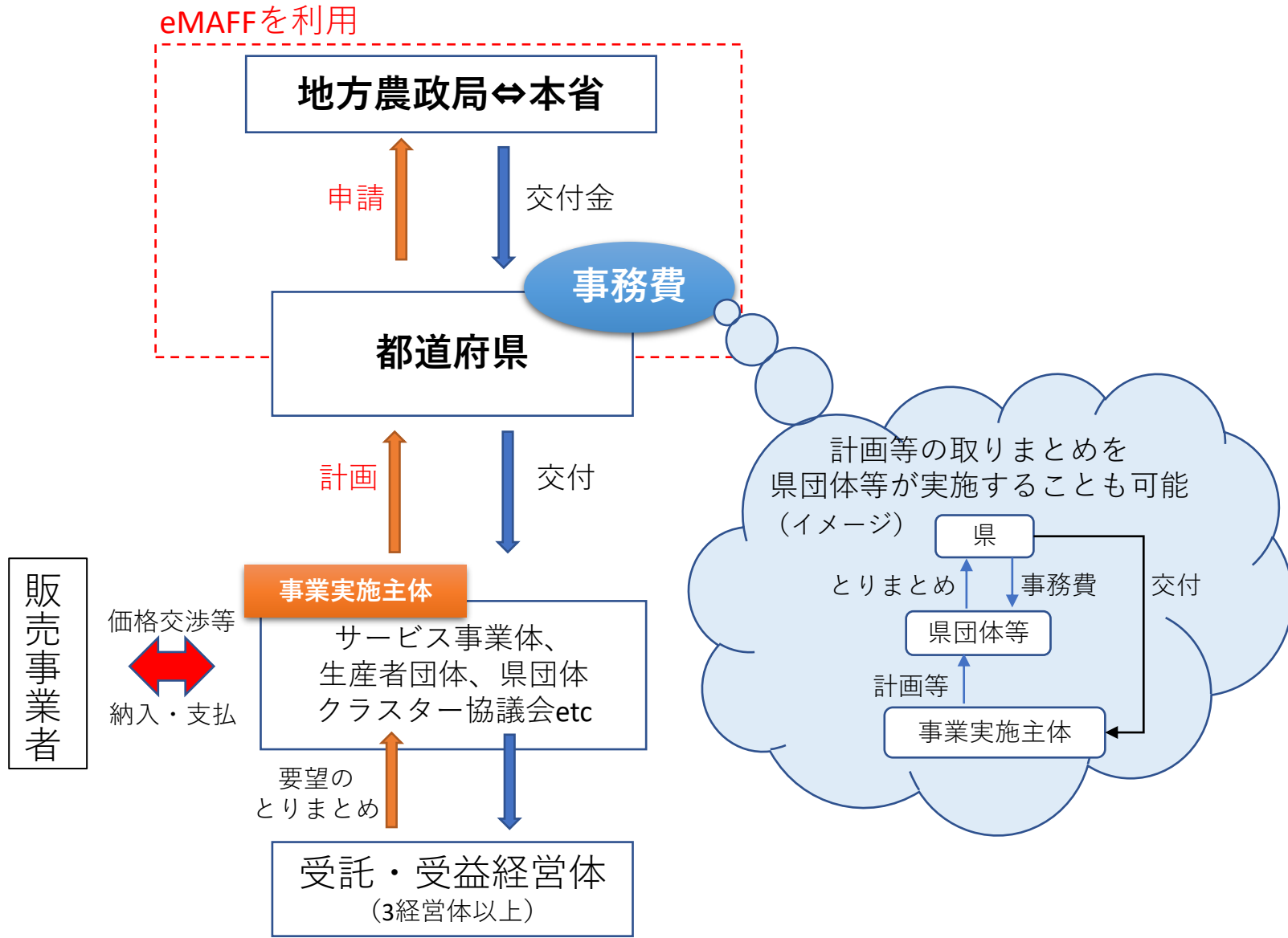
## 令和3年度スマート畜産業の全国展開に向けた導入支援事業「導入対象機械例」 その2

対象畜種等	技術名・機械名	団体名または企業名	備考
自給飼料	GPSガイダンスシステム	株式会社クボタ	
自給飼料	WCS稲管理の肥料散布「ブロキヤス」	クーン社	
自給飼料	直装式スプレーヤー「iXter series Mounted Sprayer B16HG21」	(株)ピコンジャパン	
自給飼料	自動操舵パッケージ「Agribus」	株式会社農業情報設計社	
自給飼料	ip無線機「igps7plus」	トム通信工業株式会社	
自給飼料	ラップマシーンWM1631AXW	タカキタ	
堆肥生産	ロボットパレタイザー(フジエース: II-2)	不二輸送機工業株式会社	
畜舎環境管理	畜舎環境制御装置とカーテン	日本配合飼料株式会社	カーテンを導入する場合は、制御装置と併せて導入する必要
畜舎環境管理	東屋式スーパーカーテン D型		温度センサー等により自動で開閉する制御盤であれば補助対象
畜舎環境管理	鶏舎監視カメラシステム	有限会社ダイナミック南九州	
畜舎環境管理	屋外用パンチルトIPネットワークカメラ		
畜舎環境管理	温度管理システム	マスプロ電工	当該機器の導入により、成果目標が達成できる豚舎での活用方法を確認すること
畜舎環境管理	監視カメラ「MOWCAM」	株式会社The Better	
畜舎環境管理	CO2モニタ、フォローウインド	株式会社チノー、フルタ電気株式会社	CO2濃度によりファンをコントロールできる型に限る

# ⑦ 成果目標のイメージ

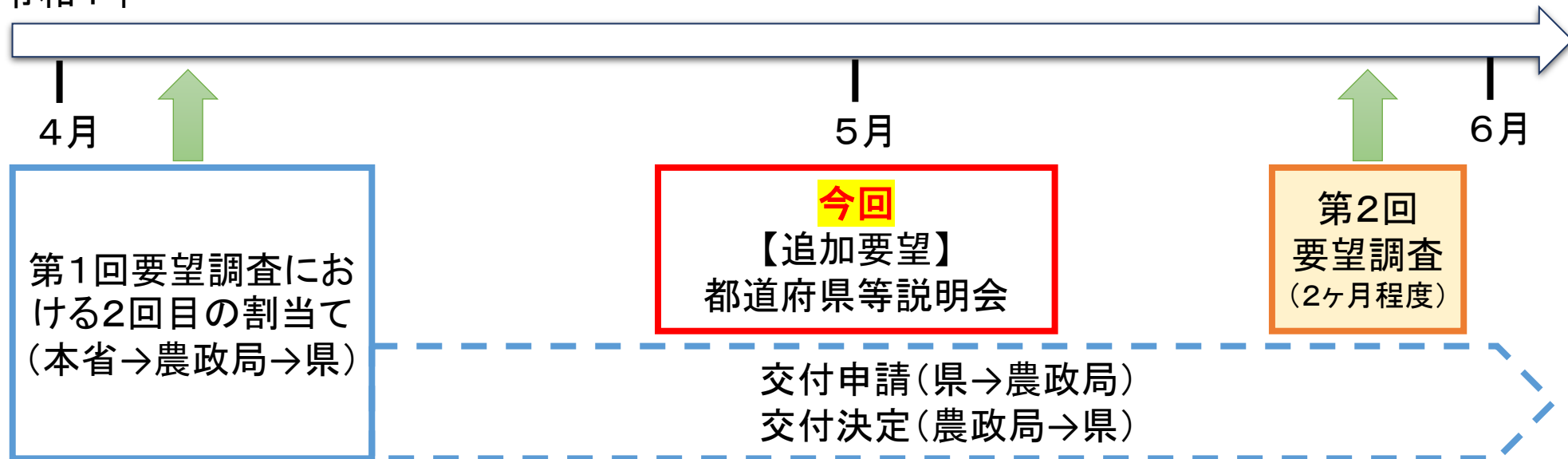
- 採択に当たっては、以下の成果目標について審査基準を明確にしたポイント制とし、予算の範囲内で高得点者から採択
  - 1 畜産支援サービス導入タイプ
    - ・生産性の向上、売上げ等
  - 2 一括発注タイプ
    - ・生産性の向上、売上げ等
  - 3 共同利用タイプ
    - ・生産性の向上、売上げ等

# ⑧ 事業申請の流れ

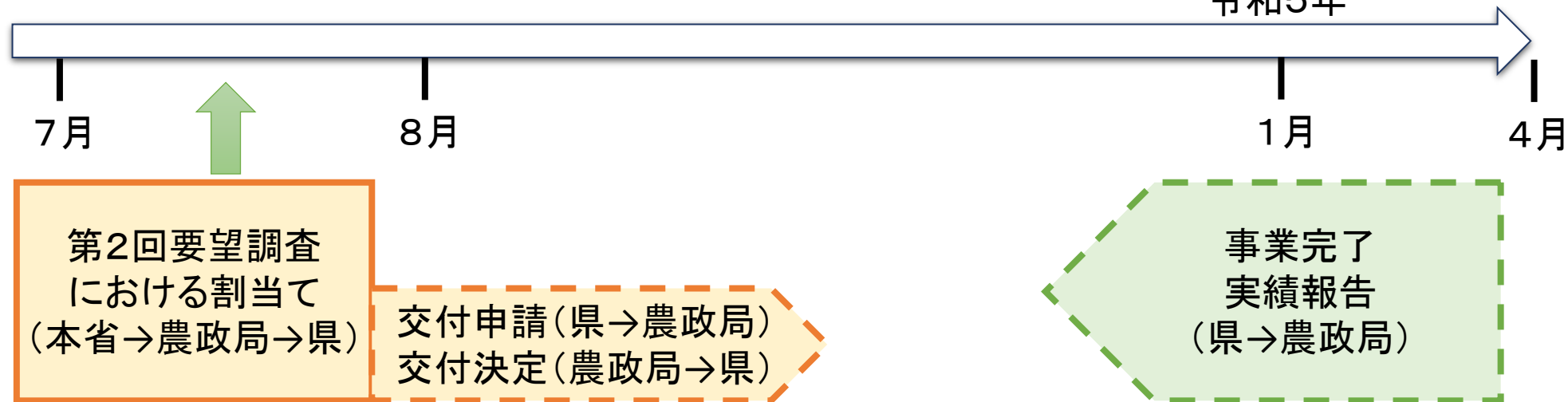


# 令和3年度補正スマート農業事業の令和4年度想定スケジュール（案）

令和4年



令和5年



※点線枠内の農政局等への申請・報告手続きにはe-MAFFによる手続きが必要です